



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 近畿車輛株式会社

コード番号 7122 URL <http://www.kinkisharyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡根 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益田 浩

TEL 06-6746-5231

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	8,121	4.6	24	△83.5	△126	—	△131	—
28年3月期第1四半期	7,764	252.5	150	—	133	—	91	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △999百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 760百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△1.91	—
28年3月期第1四半期	1.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	59,034	30,620	51.9	444.83
28年3月期	57,563	31,826	55.3	462.35

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 30,620百万円 28年3月期 31,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末配当予想額は未定でございます。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	16.3	△400	—	△600	—	△700	—	△10.17
通期	45,000	2.2	△1,000	—	△1,300	—	△1,500	—	△217.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は△21円79銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	69,083,597 株	28年3月期	69,083,597 株
29年3月期1Q	246,862 株	28年3月期	246,131 株
29年3月期1Q	68,837,283 株	28年3月期1Q	68,841,358 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続については実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(業績予想について)

当社は、平成28年6月29日開催の第104回定時株主総会において、株式併合に関する議案が承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合にする株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の連結業績予想は、以下のとおりとなります。

1株当たり当期純利益	
第2四半期末(累計)	△10円17銭
通期	△21円79銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
4. 補足情報	P. 10
生産、受注及び販売の状況	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ(当社及び連結子会社)における業績は、売上高が81億2千1百万円(前第1四半期連結累計期間売上高77億6千4百万円)と前年同期に比べ3億5千6百万円の増加となり、営業利益は2千4百万円(前第1四半期連結累計期間営業利益1億5千万円)となりました。また、経常損失は1億2千6百万円(前第1四半期連結累計期間経常利益1億3千3百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億3千1百万円(前第1四半期連結累計期間親会社株主に帰属する四半期純利益9千1百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鉄道車両関連事業

国内向車両の西日本旅客鉄道株式会社向電車、海外向車両のロサンゼルス郡都市交通局向電車等により、売上高は79億2千1百万円(前第1四半期連結累計期間売上高75億6千4百万円)となり、営業利益は1億5百万円(前第1四半期連結累計期間営業利益1億9千3百万円)となりました。

②不動産賃貸事業

東大阪商業施設及び所沢商業施設を中心に売上高は1億9千9百万円(前第1四半期連結累計期間売上高1億9千9百万円)となり、営業利益は1億7千3百万円(前第1四半期連結累計期間営業利益1億7千2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は590億3千4百万円(前連結会計年度末575億6千3百万円)と14億7千1百万円の増加となりました。流動資産は主に仕掛品の増加により、381億4千8百万円(前連結会計年度末363億5千3百万円)と17億9千5百万円の増加となりました。固定資産は、208億8千6百万円(前連結会計年度末212億1千万円)と3億2千4百万円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は284億1千4百万円(前連結会計年度末257億3千6百万円)と26億7千7百万円の増加となりました。流動負債は主に短期借入金の増加により、202億3千5百万円(前連結会計年度末180億3千8百万円)と21億9千7百万円の増加となりました。固定負債は81億7千8百万円(前連結会計年度末76億9千8百万円)と4億7千9百万円の増加となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は306億2千万円(前連結会計年度末318億2千6百万円)と12億6百万円の減少となりました。その主な要因は為替換算調整勘定の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日発表の「決算短信」に記載いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,552	3,809
受取手形及び売掛金	7,316	7,470
仕掛品	21,100	23,283
原材料及び貯蔵品	621	685
その他	2,770	2,906
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	36,353	38,148
固定資産		
有形固定資産	11,727	12,013
無形固定資産	80	102
投資その他の資産		
投資有価証券	8,794	8,224
その他	673	606
貸倒引当金	△65	△61
投資その他の資産合計	9,401	8,770
固定資産合計	21,210	20,886
資産合計	57,563	59,034

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,514	6,160
短期借入金	1,206	3,126
1年内返済予定の長期借入金	588	727
未払法人税等	131	25
前受金	4,455	5,588
賞与引当金	334	84
製品保証引当金	549	543
受注損失引当金	1,319	715
その他	2,937	3,264
流動負債合計	18,038	20,235
固定負債		
長期借入金	2,354	3,068
退職給付に係る負債	2,439	2,414
その他	2,905	2,695
固定負債合計	7,698	8,178
負債合計	25,736	28,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,252	5,252
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	18,632	18,294
自己株式	△100	△100
株主資本合計	26,909	26,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,508	3,113
為替換算調整勘定	1,756	1,264
退職給付に係る調整累計額	△347	△328
その他の包括利益累計額合計	4,917	4,048
純資産合計	31,826	30,620
負債純資産合計	57,563	59,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,764	8,121
売上原価	6,802	7,357
売上総利益	961	763
販売費及び一般管理費	811	738
営業利益	150	24
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	61	64
雑収入	10	14
営業外収益合計	75	78
営業外費用		
支払利息	0	30
為替差損	90	185
雑支出	1	14
営業外費用合計	92	230
経常利益又は経常損失(△)	133	△126
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	133	△126
法人税、住民税及び事業税	4	11
法人税等調整額	37	△7
法人税等合計	42	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91	△131
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	91	△131

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91	△131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	641	△395
繰延ヘッジ損益	△77	-
為替換算調整勘定	83	△492
退職給付に係る調整額	21	19
その他の包括利益合計	669	△868
四半期包括利益	760	△999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	760	△999
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	7,564	199	7,764	—	7,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	7,564	199	7,764	△0	7,764
セグメント利益	193	172	366	△216	150

(注) 1 セグメント利益の調整額△216百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△216百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
2,528	4,987	112	135	7,764

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ……エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、カタール国、アラブ首長国連邦

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	7,921	199	8,121	—	8,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	7,921	199	8,121	△0	8,121
セグメント利益	105	173	278	△253	24

(注) 1 セグメント利益の調整額△253百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△253百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
2,964	4,716	62	378	8,121

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、カタール国、アラブ首長国連邦

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	10,107	103.5
合計	10,107	103.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	5,200	21.2	171,784	93.1
合計	5,200	21.2	171,784	93.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	7,921	104.7
不動産賃貸事業	199	100.0
合計	8,121	104.6

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上